

令和2年第7回 定例会 蓮田市教育委員会会議録

招集年月日	令和2年7月30日	開会場所	蓮田市役所303・304会議室			
開会の日時 及び宣告者	令和2年7月30日 午前9時30分 教育長 西山通夫					
教育長	蓮田市教育委員会教育長 西山通夫					
招集状況 及び出席状況	席次	氏名	備考	席次	氏名	備考
	1	西山通夫	出席	4	塚本聖子	出席
	2	飯野和之	出席	5	渡邊陽子	出席
	3	増田孝	出席	書記	岩崎恵美	
議事参与者	<p>学校教育部長 増田勝弘</p> <p>生涯学習部長 新井宏典</p> <p>生涯学習部次長兼保育課長 田中和之</p> <p>生涯学習部次長兼社会教育課長 小宮雪晴</p> <p>生涯学習部次長兼文化スポーツ課長 山田則子</p> <p>教育総務課長 鈴木聖雄</p> <p>学校教育課長 高月章浩</p> <p>子ども支援課長 小林考一</p>					
傍聴者	1名					

会議の進行状況・顛末

開 議 令和 2年 7月30日 午前9時30分

西山教育長、開会を宣言する。

西山教育長の命により事務局、前回会議録（第6回定例会及び第4回臨時会）を朗読する。

西山教育長の命により塚本委員、渡邊委員 前回会議録に署名する。

教育長の報告

西山教育長から、以下の報告がなされた。

1. 長欠児童・生徒数について
2. 6月議会審議結果について
3. コロナ感染症対策会議の報告
4. 夏季休業短縮に伴う学校の状況について
5. 放射線の測定値について
6. その他について

西山教育長から、第4回臨時会閉会後に到達した子どもの人権埼玉ネットからの中学校教科書採択に係る請願の紹介がなされた。

報告事項についての質疑

飯野委員 オンライン授業がこれから始まりますが、教職員だけでできますか。あるいは、そういうことに精通した方をお願いする必要はありますか。

西山教育長 まずは、教職員だけでオンライン授業を実施することが一番理想的です。なぜならば2つ課題があります。1つ目の課題は、オンラインに精通した人を1校にひとり配置した時に、おそらく40代以上の先生方は、オンライン授業に対する苦手意識から、オンラインに精通した人に任せきりにしかねません。食わず嫌いになっているだけで、実際にやってみれば、そんなに難しいものではないと思います。オンライン授業はそんなに大変じゃないということをお知らせするためにも専門家をできるだけ配置せず、教育委員会にオンラインに精通した人が数名いればいいと思っています。今、指導主事を先進地に派遣しているところです。また、派遣終了後には、別のところへ派遣して育てていこうと思っています。この人たちが、完璧に習得できれば学校からの質疑には対応できると考えています。

2つ目の課題は、インストラクターについてです。インストラクターは、学校教育の授業の中で使えるものが何かということがわからないとダメなんです。学校現場と両方を知っている人はほとんどいません。場所によっては、人材派遣会社に頼っていますが、必ずしも適材の人がみつかるかはわかりません。契約して、民間の場合は、こちらの考えと合わない場合は契約を解除することができますが、市の場合は、契約を簡単に解除することが難しいと思いますので、この2つが課題となってきます。今後、インストラクターがいたほうがいとなれば、大学生にアルバイトをお願いしようかと考えています。アルバイトの中にオンライン授業に向いている人がいれば今後もお願いをしていくこともあるかと思っています。まずは、先生方にオンライン授業をできるようになっていただくこと

が一番だと考えています。

飯野委員 感染拡大の影響で、失業とかあるいは雇止めなどが全国的に多いかと思います。

そうしたなかで、要保護、準要保護の認定は、いつの状況をもとに行っているのでしょうか。

小林課長 認定にあたり確認する収入は、昨年の収入になりまして、6月に認定をしています。昨年度の6月時点の認定ですが、要保護、準要保護両方合わせて小学校が338名、中学校が236名、合計は574名でした。今年度はコロナの影響で少し増加が予想されていたわけですが、今現在の人数は、小学校が395名、中学校が222名、合わせて617名ですので、4、50名増えている状況です。就学援助認定した617名の方は、税の徴収猶予等を受けた方は含まれません。あくまでも昨年の収入に基づいて認定した方のみです。国の2次補正予算の可決により、ひとり親世帯については、臨時特別給付金が一世帯5万円、第2子以降3万円加算となる補助事業が実施となり、また、市としても児童扶養手当受給者及び就学援助等受給者に対する臨時給付金により、一人2万円支給される制度もありますので、ひとり親に関しましては、支援が比較的行われているのかなと考えております。

飯野委員 ありがとうございます。そういった補助金とか給付金があるから、生活していけると思います。今後も大局的にご相談にのってもらえればと思います。

小林課長 先ほどのひとり親世帯臨時給付金は、7月から申請を受けておりますが、家計が急変した場合に申告しますと追加で5万円支給されます。窓口に来られている方の中では、この相談が多くなっています。

飯野委員 就労支援で、就労につなげられる職場がどんどん減っている中でご苦労されていることはありますか。

小林課長 子ども支援課で直接仕事の斡旋はしていませんが、ひとり親の方で、母子家庭等自立支援事業を利用して、看護師等の資格を取得しようとしている方は6人いらっしゃいます。

増田委員 不登校の中で少し気になったお子さんがいらっしゃいます。非常に予断を許さない状況にあるのかなという気がいたしますので、学校で組織的な対応がされているのか、また、このお子さんの場合は、非常に親子関係の健全化が必要だと思いますので、できれば学校組織全体で、あるいは児相や民生委員・児童委員等との連携を図りながら対応してあげることも必要なのかという気もします。その点で、どのように対応しているか教えていただければと思います。

西山教育長 今、おっしゃったお子さんは、家庭の問題が非常に大きいです。学校としては、その状況を把握してしまして、子ども支援課のケースワーカーやソーシャルワーカー及びスクールカウンセラーを入れ、いろいろな窓口で対応をしています。また、地域の方にもお願いして対応をしています。親御さんにもお願いしても子供を外に出さないケースもありますので、児相が自宅へ伺ったりしていますが、帰されてしまうこともあります。また、児相も人手不足で、学校で対応してください、あるいは教育委員会で対応してくださいと依頼されるケースもあると聞いています。この事案については、学校も非常に気にかけていて、常に組織的に対応をしています。

以前、お話したことがあると思いますが、今の40代以下の先生方は、昭和55年頃の校内暴力で大変だったころの生徒指導を乗り越えた先生がいません。そのため、荒れている子供や家庭が紛糾している子供にどう対応していいのかわかりません。今の若い先生は、荒れた子供がいると対応することが無理と考え、校長先生にお願いをしたり、クラス替えまで待つという事例も出てきています。それでは困るので、校長会で、指導の手法を若い先生に伝えるようお願いをしています。今は、昔のように学校の物を破壊したりなどはありませんが、陰で人を傷つけたり、SNSで誹謗中傷をしたりしています。まったく新しいタイプの課題が発生してきたという意味で、昔と似たような状況です。なので、組織的に皆でこのようなお子さんに関わっていかなければならないと思います。このような子の予備軍はもっといっぱいいます。一方で、できる子もいますので、そちらも指導をしなくてははいけない。今の先生は、ある意味大変だと思います。

飯野委員 コロナの中であまり遠くへ外出しないという動きの中で、市内を散歩する方もいると思いますが、場所の紹介ということで、黒浜貝塚の公園などはどうでしょうか。

西山教育長 黒浜貝塚は、ときどき歩いている方がいますよね。

小宮次長 はい。まだ全面的に開園はしていませんが、工事休工中は、どこでも入れる状態にはしてあります。台風等の被害により大きな穴があかない限りは水没しませんので、歩いても大丈夫だと思います。

西山教育長 今心配しているのは、そういうことなのです。体験的活動をやらせなくちゃいけない中、やらせたいと思うんですが、はたしてこれから修学旅行は大丈夫かなということを心配しています。2学期の修学旅行ができるのかなって、できればいいなって、感染者がでなきゃいいなって、学校から感染がみつかると、行けなくなってしまいます。修学旅行に行かせてあげたいという思いでいっぱいですが、感染者が出たら残念ながら無理ですよ。新幹線の中は一応大丈夫ですよ。

増田部長 新幹線や飛行機は換気をしていますので、この中で感染することはないと聞いています。

西山教育長 修学旅行を実施するために、一応、調べています。修学旅行先でのバス移動ですが、多少お金がかかっても、1クラス2台のバスをチャーターすることも検討しています。

飯野委員 公共施設が少しずつ動き始めています。ある程度利用に制約はあると思いますが、今の状況を教えてください。

西山教育長 図書館は開いていますが、閲覧はできません。

小宮次長 現在は、椅子等は置いていませんが、本棚まで行って、自分で本を手にとって借りることはできます。9月上旬からは、腰を落ち着けて、本を読めるようにする予定です。

西山教育長 パルシーのトレーニングルームも時間制限がありますよね。

山田次長 また、人数制限もあります。

西山教育長 何時間、使えますか。

山田次長 2時間単位で、1時間あけて、消毒の時間をとっています。

飯野委員 実際の利用状況はどうですか。

小宮次長 図書館は、平日の日中は、休校中の子供たちが割と来ていました。土日は、閉館前と同じぐらいの状況で、貸出冊数は、閉館前とほぼ変わりません。

西山教育長 パルシーのトレーニングルームも混んでいますか。

山田次長 定員が元々少ないので、定員いっぱいの方が多いたのですが、空きのある日もあります。

西山教育長 公民館は開いてはいますが、利用を遠慮していただいていますよね。

小宮次長 今、ソーシャルディスタンスに基づく人数制限と時間の制限をかけながら利用していただいている状況です。

西山教育長 市民の方から、もっと施設を開けてほしいという要望は、圧倒的に多いです。しかし、制限を緩和したときに感染が広がらないか心配で、もう少し様子を見させていただいて、慎重に対応しています。本来の第2波が来たら、すぐに感染が広がりますので、とても怖いと思っています。

増田委員 中央公民館を利用しましたが、非常にきちんと準備や対応がされていて感心しました。陽性者が出た場合の手順も、組織的に徹底されていると思いました。いろいろな公共機関を利用しますが、ここまで徹底しているところはない中、今後もぜひこの対応を続けていただければと思いました。

西山教育長 パルシーやハストピアもこのような対応をしています。

西山教育長 今回の学校の休校についても、市長に相談すると、徹底的にやってください。と言われ、非常に心強かったです。

飯野委員 今回、感染者が出たことで、学校を休校して消毒をしたと思いますが、今後、複数の学校で感染者が出たり、学校以外の場合も出てくると思います。消防以外に外部へ対応を依頼することはありますか。

西山教育長 感染症対策班があり、その中の話では、ペストコントロール協会に連絡を取り、消毒を頼む段取りはできています。ただ、ペストコントロール協会が頼む業者さんが、果たしてその日に空いているかわからないので、対応ができないときは、消防が対応をします。今回、対策会議で報告書ができましたので、マニュアルにのっとって、消毒を徹底していくと思っています。

飯野委員 噴霧器が一つでは、少しきついという話も聞いています。

西山教育長 たぶん、消防から対策会議で、噴霧器を増やしてほしいと言ってくると思います。あと、教育委員会で、次亜塩素酸水の器械を買ったのですが、これが、もう故障がはじまっています。しかし、噴霧器があるおかげで、夜、噴霧すると、先生方が苦労して消毒をしなくて済んでいます。それがとてもいいので、現在の噴霧器が故障して動かなくなったら、新しくより良いもの買い替えてもらう構想もっています。

渡邊委員 濃厚接触者が出た場合の保護者への連絡についてですが、今回、濃厚接触者が出なかった学校では、当校は対象ではないという内容のメールが届きました。それではどこの学校が対象なのかと保護者の間で騒ぎになりました。今後は、どのような対応になるのでしょうか。

西山教育長 対応は変えません。教育委員会には、保健所からの情報は、個人情報ということで、一切入ってきません。こちらで得ている情報は、学校に保護者の方が好意で伝えてくれる情報だけなのです。こちらで情報を得るために苦労をしています。あまり詳細に情報を公開しますと、保護者の方から情報を提供しただけなくなる恐れがあります。保護者の方が情報提供をしやすい体制が、大切だと思っています。

渡邊委員 休校中の子供は、自宅で自粛をしているとは思いますが、スーパー等にいたりします。学校から、休校中の自宅での自粛をお願いする手紙を配布するとかはありますか。

西山教育長 学校で、休校中の不要不急の外出は控えるようにと話をしていると思います。

増田部長 学校が、保護者の方に配布する手紙に、休校中の外出自粛をお願いする文言が入っていますが、保護者の方の考えもあると思いますので、1つ1つの行動の是非について、具体的に線を引くのは、厳しいことが現状です。

増田委員 保護者によっては、心配をして、かなり情報を把握しようとする方もいます。情報内容はきちんと線引きをし、学校が伝達できることと、個人情報保護のために伝達できないことを示さなくてはいけないと感じました。校長会等で、保護者向けに情報内容の線引きについて、伝える必要があるのではと思いました。

西山教育長 この対応は、非常に難しいと感じています。しばらくの間は、この対応でいくしかないと思っています。

塚本委員 情報を知りたい方は、ほかの学校のことについても知りたがっています。

西山教育長 そうですね、皆、情報を知りたいと思っています。それを否定はいたしません。どこで接点があるかわからないので、知りたいという気持ちは、当然だと思います。ですが、その結果、情報提供することを恐れ、教育委員会に正しい情報が入らなくなってしまう怖さがあります。教育委員会を信頼して情報提供をしてくださる方がいるから、多くの子を守れていると思います。

塚本委員 長欠児童・生徒の一覧表を見ますと、先生方の文章がとても丁寧に書かれていて、また、新しい内容も書かれているので、とてもありがたいなと思っていますが、6月の状況が書かれていない子供もいますので、ぜひ載せていただきたいと思っています。

西山教育長 6月に、休みから戻ってきている子供の様子も書き込んでもらえるとう助かりますよね。

鈴木課長 議事に入る前に、お諮りいたします。報告第15号、報告第16号は公開で行いますが、議案第22号は、教科用図書の採択に関する案件であり、教科用図書の採択の決を採る議事につきまして、「第23採択地区教科用図書採択協議会」で非公開となっております。本市も採択協議会の規約に準じ、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づきまして、非公開で行いたいのと思いますが、いかがでしょうか。

全委員承認

議事

西山教育長、報告第15号「教育委員会所管に係る令和2年度蓮田市一般会計補正予算(第

3号)について」を提案する。
各所管課長から、概要説明がなされた。

西山教育長、報告第16号「教育委員会所管に係る令和2年度蓮田市一般会計補正予算(第4号)について」を提案する。
各所管課長から、概要説明がなされた。

(以下、非公開審議)

西山教育長、議案第22号「令和3年度使用中学校用教科用図書(全教科)の採択について」を提案する。
鈴木教育総務課長から、概要説明がなされた。

採決の結果委員総員の賛成で議案第22号は原案のとおり可決とした。

西山教育長の閉会宣言で第7回定例会は閉会となった。

閉議 午前11時32分